

東都医療大学図書館通信

「看護研究実践論文集録2015年」図書館に配架中です

昨年度、看護研究を選択した学生さんたちの「看護研究実践論文集録2015年」が製本完成となりました。ただいま図書カウンター前に配架中です。本書は著作権の関係により館内閲覧のみとさせていただいております(貸出不可、複写不可、撮影不可)。実際に研究を行っていた学生さんたちは、実習や国試勉強との両立が本当に大変そうでしたが、やり終えた後の達成感は大きかったとの声も聞かれました。今年度看護研究を行う4年生の皆さん、今後研究に携わる1~3年生の皆さん、ぜひ先輩たちの努力が詰まった論文集をご覧になってみてはいかがでしょうか。研究を行っていくうえで、多くのヒントがもらえるかもしれません。



就職試験にお役立てください



就職試験に際し、小論文や面接に頭を悩ませている学生さんも多いのではないのでしょうか。当館では小論文の書き方や面接に関する本も取り揃えております(貸出中のもも多く、写真に掲載できなかった図書もあります!)また、保健師を受験する皆さんには、雑誌『公務員試験 受験ジャーナル』がお勧めです。公務員関連の情報や、教養試験・適性試験などの予想問題も多く掲載されております。ぜひご活用下さい。

4-5月中旬までに納品された図書・雑誌など

◀図書▶

- 看護師・保健師国家試験問題集、続々と入荷しています。ぜひご活用下さい。
- 『系統別看護師国家試験問題 解答と解説 2017』(医学書院)
- 『クエスチョン・バンク看護師国家試験問題解説 2017』(メディックメディア)
- 『看護師・看護学生のためのレビューブック2017』(メディックメディア)
- 『必修ラ・スパ2017』(医学評論社)
- 『ラ・スパ2017』(医学評論社)
- 『ラ・スパ過去問対策 2017』(医学評論社)
- 『クエスチョン・バンク保健師国家試験問題解説 2017』(メディックメディア)
- 『保健師国家試験のためのレビューブック 2017』(メディックメディア)
- 『医療福祉総合ガイドブック 2016』(医学書院)
- 『看護六法 平成28年版』(新日本法規出版)

◀雑誌▶ ※下記OPACをご参照ください。

<http://www.lib-finder2.net/tohto/servlet/New?findtype=1>

看護・医療系図書が10%OFFで購入できます!

展示販売のお知らせ(前期)

展示販売	納品
4月は終了いたしました	
5/10(火)	5/17(火)
6/7(火)	6/14(火)
7/5(火)	7/12(火)

時間 : 12:30 ~ 13:10

場所 : 1F 食堂

書店 : 廣川書店

TEL : 027-322-4804

E-mail : takasaki@hiro-kawa-books.co.jp

※日程変更等生じた場合は、別途お知らせ致します。

青い鳥

基礎看護学領域講師 浅井直美



『青い鳥』メーテルリンク, M. 著,
講談社(青い鳥文庫シリーズ)

メーテルリンク作の「青い鳥」をご存知の方は多いと思います。看護とは少し離れた本の世界をのぞいてみましょう。

小さな森のきこりの小屋に住む兄チルチルと妹ミチルが、青い鳥を探すため冒険に出る物語です。窓辺に並び、イクリスマス・イヴの夜、イブでにぎわう村の様子を眺めていました。貧しい暮らしのふたりは華やかなパーティを眺め、ケーキを食べたふりをして楽しんでいました。突然不思議な妖精のおばあさんが2人の前に現れ、青い鳥をさがしてほしいと頼みます。病気の娘さんがいて、青い鳥が見つければ、その娘さんが幸福になるというのです。

最初に行ったのは、「思い出の国」。昔、死んでしまったおじさんとおばあさんに出会います。そこで、おじいさんに「生きている者が思い出してさえくれば、目がさめていつでも会えるんだよ」と教えてくれます。青い鳥を探すことができ、とりかごの中に入れて

ますが、そこを出ると、青い鳥の色が変わってしまうのです。次に「夜の城」に行き、そこには、夜に支配された多くの扉があり、その中に青い鳥がいると聞きます。チルチルは幽霊の扉など怖い思いをしながら開け続け、最後に青い鳥がたくさんいる扉をあけることができます。たくさんの青い鳥をつかまえたチルチルでしたが、一歩、外に出ると、みんな死んでしまい、本当の青い鳥ではなかったのです。「幸福の館」では、世の中には人間が考えているより、もっとたくさんの幸福があることを教えられます。そして、中でも母の限りなく美しい愛に浸ることが大きな幸福であることを知ります。次に「未来の国」でたくさんの子供たちに出会います。誕生を待っている子供たちです。子供たちはそれぞれ重要なテーマを抱えています。つまり、人間は何かひとつ「自分の運命」を持って生まれていかなければならないことを知ります。

チルチルとミチルがハット気づくと、そこは見慣れた家の中でした。そこへ、おばあさんがやってきます。チルチルは青い鳥を探せなかったことをおわびします。するとおばあさんは、チルチルが前から飼っていた鳩を欲しがります。よく見ると、旅に出る前よりもずっと青くなっていました。チルチルとミチルは、幸福とは思わないだけで、ごく身の周りに潜んでいるものと知ったのです。

この本は、最近、何気なく手にしてみました。子供の本と思っていたのですが、読んで、今の生活を当たり前で生活できることに改めて、幸せなことと感ずることができました。

大学に入学し、学習できる環境にあることを皆さんはどう思われますか。この環境にいられる時間は永遠と続きません。今のこの時を幸せと感ず、多くの体験を通して、多いに学び、自分を成長させてください。



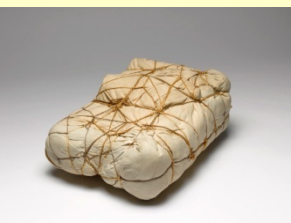
アンリ・マティス「大きな赤い室内」(1948) Photo:
Bertrand Prevost - Centre Pompidou, MNAM-CCI

「ポンピドゥー・センター傑作展」～ 目黒の傑作に野に集結す～

ポンピドゥー・センターとは、1977年、パリの中心部に開館したジョルジュ・ポンピドゥー国立芸術文化センターの通称です。国立近代美術館・産業創造センター、公共情報図書館、音響音楽研究所などで構成されたフランス国立の総合文化施設となっております。建物は独特で、むき出しのパイプやガラス、透明なチューブ状のエスカレーターなどまるで工場を連想させるような造りとなっており、現在も多くの入客を魅了しています。今回の傑作展では、ピカソやマティスなど巨匠の傑作から、日本ではまだ名の知れない画家の隠れた名品まで、近現代美術コレクションより、選りすぐりの作品を約70点紹介しています。1年ごとに1作家の1作品を選び、「イズム」にとらわれないアートのタイムラインは本展のみどころの1つとなっております。5月の大型連休も終わり、梅雨の足音も少しずつ近づいてくるころ。どこにでかけようかと悩んでいるようでしたら、独創的なアートの空間へ足を運んでみてはいかがでしょうか。ピカソの代表作「ミューズ」も初来日しています！



ヴァンサン・カンディンスキー「30」(1937) Photo:
©Philippe Migaut - Centre Pompidou, MNAM-CCI



クリスト「パッケージ」(1961) © Christa, 1961 Photo: Georges
Mequerditchian - Centre Pompidou, MNAM-CCI

会場：東京都美術館 企画展示室(〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36)
会期：2016年6月11日(土)～2016年9月22日(木・祝)
開室時間：9:30～17:30
※金曜は20:00まで。 ※入室は開室の30分前まで。
※8/5 [金]、6 [土]、12 [金]、13 [土]、9/9 [金]、10 [土] は21:00
まで
休室日：月曜日、7月19日 [火]
※ただし7月18日 [月・祝]、9月19日 [月・祝] は開室
観覧料：高校生…800円、大学生・専門学校生…1,300円、一般…1,600円。

きれいな紫です

街を歩いていたらきれいな紫色の花に出会いました。初めて見た花で名前もわからず、写真に収め、図書館の花図鑑で調べてみました。これは「クレマチス」という種類でしょうか。世界で約300種もあるそうです。花言葉は「清廉な心、精神の美」。思わず背筋がピンとなるような花言葉です。

